

市が求める職員像

私たち丹波篠山市職員は、すべての丹波篠山市民の皆さんに「丹波篠山に住んでよかった」と実感していただけるまちづくりを進めるため、人材育成基本方針に基づき、5つの目指すべき職員像を掲げ、職員の行動指針とし、その目標の達成に向けて日々努力しています。

このため、私たちは、目指すべき職員像に共感する人材を求めています。あなたも私たちの仲間となり、ともに汗を流し、知恵を絞って、市民と一緒に丹波篠山市のまちづくりに貢献しませんか。

熱い情熱を持ったチャレンジ精神豊かな方をお待ちしています。

笑顔とあいさつを忘れず、プロ意識を持って対応できる職員

常に、公務員としてのプロ意識を持ち、日々自己研鑽しながらも、行政サービスには欠かせない笑顔とあいさつを忘れない職員を目指します。

チームワークを大切にする職員

チームプレーを大切にします。1人でできないことも、チームで挑戦（Try）し、チームで喜び（Enjoyment）を分かち合うことで、行動（Action）する力ややる気（Motivation）に繋がります。

困難な仕事にこそ前を向いて取り組む職員

横並び、先送り、前例がないなどの慣例的な対応は避け、柔軟な発想と市民の目線を持ち、まずは取り組む前向きな姿勢を大切にします。

気づきを大切にし、新たな課題に挑戦する職員

事業継続にあたっては、常に過去を点検し、新しい視点を加えることが大切です。PDCAサイクルをしっかりと回し、早い段階での問題解決に努めます。

丹波篠山市を愛し、みんなの暮らしのために行動できる職員

職員が市民のために、私たち（行政）の行動がみんなの暮らしのためにあるという意識を持ち、一つひとつの行動に自覚を持って取り組みます。